

施策番号	2003		
施策名	歩いて楽しいくらしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」大作戦）		
概要	「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発を推進するとともに、歩いて楽しいくらしを大切にする動機付けのための情報や公共交通を利用する際に必要となる情報を、さまざまなメディアや機会などを通じて提供し、交通行動の振り返りや変更を働きかけ、ライフスタイルの転換を促す。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関係する 主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	観光客公共交通利用割合(%)	-	b	78.5	84.9	79.1	107.3%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル（くらし方，生き方）が大切にされている。	37	136	205	101	45	524	c
		7.1%	26.0%	39.1%	19.3%	8.6%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】ラジオを活用した情報発信や観光ガイドブックへの情報掲載など、積極的かつ継続的に啓発に努めた結果、b→a評価と改善した。 【市民の実感】ライフスタイルの転換を図るため、市民や観光客の皆様に対して、公共交通マップの配布や市民しんぶんへの情報掲載などにより、公共交通利用促進を図る情報の提供などを行っているが、まだ十分に浸透していないと考えられることから、昨年度に引き続きc評価が続いている。						24年度	C

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

●ライフスタイルの転換をひとりひとりに促すため、「スローライフ京都」大作戦（プロジェクト）を継続して推進し、自らの行動を振り返り、行動をどのように変えるかを考えるきっかけとなる機会や情報の提供を様々な媒体を活用し、家庭、学校、職場や観光客などに向けて行うことにより、市民、観光客の皆様と一体となって過度な自動車利用の抑制を推進する。

施策名	2003	歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」大作戦）				
指標名	観光客公共交通利用割合（％）					
担当課	歩くまち京都推進室		連絡先	2 2 2－3 4 8 3		
1 指標の説明						
京都市への入洛観光客が利用する交通手段に占める公共交通の割合						
2 指標の意味						
観光客の公共交通の利用状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：京都観光総合調査						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	78.5	84.9	6.4ポイント増	79.1	平成23年度の調査開始以降の最高値以上をめざす	107.3%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
目標値の達成度が a：100％以上 b：80％以上100％未満 c：60％以上80％未満 d：40％以上60％未満 e：40％未満			6 基準説明			
			最高値を100％とし、以下20％刻みで設定した。			
7 評価結果						
24		25		26		
-		b		a		